

第6学年4組 総合的な学習の時間（英語活動）指導案

平成20年12月3日（水）第4校時

授業者 教諭

1 題材名 アルファベットで遊ぼう

2 題材の目標

アルファベットに興味を持ち、積極的にアルファベットを見つけて読んだり書いたりできる。

3 題材について

(1) 題材のテーマについて

本題材は来年度から導入される「英語ノート」6年生の Lesson1, 2 から活動内容を構成した。現在の日本社会には英語があふれている。特に、アルファベットに関しては、コンピュータをはじめ生活の中にとけ込んでいるものも多い。町を歩いているだけでも、数多くのアルファベットが目飛び込んでくるし、児童の持ち物にもアルファベットが書かれているものが多い。ここでは、そのアルファベットを取り上げ、アルファベットを積極的に探したり読んだり、意味を考えたりしてコミュニケーションを図っていききたい。

(2) 活動計画（2時間配当）

時配	活動内容	主な言語材料
1	A～Z, a～zを見つけよう	A～Z, a～z, What's this? It's～.
2(本時)	アルファベットの文字や言葉を探そう	A～Z, a～z, What's this? It's～.

4 児童について

英語活動の時間に、意欲的に英語で話そうとする児童がいる反面、英語を耳で聴き取って同じように真似をして話すことに抵抗のある児童も見られる。修学旅行では、全員が外国の人に話しかけてコミュニケーションをとることを課題とし事前に練習して臨んだ。紙を見ながらや役割分担をしながらではあるが、どのグループも協力して話しかけることができ満足感を得ていた。英語が通じたことに喜びを感じたり、外国の方のフレンドリーさに感動したり、とても有意義な体験をすることができた。また、京都に外国人がたくさんいたことや英語圏ではない国の人も上手に英語を話すことを目の当たりにし、英語を学ぶことの重要さを肌で感じたようだ。

5 指導について

中学校区の合同研修会で、英語科における小中連携で必要なこととして、ローマ字（ヘボン式）の復習を6年生ですておくことが挙げられていた。ローマ字の復習のために生活ノートをローマ字で書くことをときどき行っているが、アルファベットを正しく表記できなかつたり大文字と小文字が一致していなかつたりという現状が見られる。アルファベットのカードを使ったゲームなどを通して楽しく定着させていきたい。また、小学校の時から英単語の書かれたカードを意識して見せ、ローマ字と英語の表記方法が違うことを自然に理解していくことで中学英語にスムーズに移行していくことができるということも話し合われた。今回は自分の身の回りに目を向けることでローマ字や英語の表記を身近に感じ、生活の中で関心を持って読んだり書いたりすることができるようになることをねらいとしている。児童の持ち物や衣類にアルファベットが使われているものが多いが、デザインとして見るのではなく、読んだり意味を考えたりすることで今までとは違った見方ができるようにしていきたい。

英語活動においては、ペアやグループでの活動を多く取り入れている。一人一人の思いを表現しやすくしたり、自信のない児童も友だちに助けをもらいながら会話を楽しめるように心がけて

いる。

2日前のALT訪問で、修学旅行で買ったおみやげについてインタビューしあう活動を行っている。修学旅行先のU.S.Jで目にした英語の表示も取り入れ、片仮名ではなく本来の英語で読み書きすることにも興味を持たせたい。

6 本時の目標

身の回りのアルファベットの表示に興味を持って、読んだり書いたりすることができる。

7 準備物

ゲーム用のアルファベットカード6組、アルファベットで表示されたカード、ワークシート

8 本時の学習課程

学習活動	支援（・）と評価（☆）
○はじめのあいさつをする。 ・ Good morning. How are you ? ・ Fine thank you, and you?	・ 英語で元気よくあいさつを交わすことにより、児童に授業の始まりを意識させるようにする。
○グループごとに「アルファベット神経衰弱」ゲームをする。 〈やり方〉 アルファベットの大文字と小文字のカードあわせて52枚を裏にして、2枚めくって文字があえばカードがもらえる。	・ めくったカードのアルファベットを、めくった児童が声に出して言うようにする。 ☆大文字と小文字のアルファベットを覚えてゲームを楽しんでいるか。（行動観察）
○教室の中、身の回りのもの、持ち物の中から、アルファベットの文字を探しワークシートに書き写す。	・ 教室の中からいくつかアルファベットの文字や英単語を児童に紹介し、興味をもたせるようにする。
○探し出したアルファベットの文字や単語を発表する。	・ 児童が身の回りでよく見かける単語を扱うことで、アルファベットの文字を意識させ、身の回りにはたくさんのアルファベットの文字があることに気付かせるようにする。 ☆進んで身の回りにあるアルファベットの文字を探そうとしているか。（ワークシート）
○よく見かけるアルファベットの表示をみて読み方や意味を考える。	・ 町の中で見慣れた表示や修学旅行で行ったU.S.Jのアトラクションの表示をカードで示し、英語の表記に興味を持つことができるようにする。
○本時の振り返りをする。	・ アルファベットについて気付いたことなど、感想を話し合い今後の意欲につながるようにする。

9 授業の観点

アルファベットの表示に興味をもたせるための活動や準備物は有効だったか。